

## “現場”の詳細な分析ニーズに対応して 競争力を強化するBIソリューション

### データ活用ニーズの変化から 生まれたリアルタイムBI

多くの企業において、ビジネス・インテリジェンス（BI）やデータウェアハウス（DWH）を利用したデータ活用は、月次・週次・日次でビジネスや業務の状況を報告する定型レポートや、経営層や部門幹部への情報の分析・提供を目的としたものがほとんどである。そのため、従来のBIソリューションは、定型レポートを作成／入手することが目的だったので、日常の業務を妨げないよう、業務終了後の夜間にバッチ処理を行い、基幹系システムからデータをロードして作成していた。しかし最近では、現場の担当者を中心に「基幹系システム稼働中に何度も情報を更新したい」、「複合業務のデータを横断的に見たい」、「自由度の高い分析を行いたい」、そして「時間毎の来店者の傾向を確認したい」といった詳細な分析ニーズへの対応が求められていた。このようなデータ活用ニーズの変化から生まれたのがリアルタイムBIである。

リアルタイムBIのニーズとして、次のようなケースが考えられる。

- ・日中の業務時間内に最新の在庫状況を確認して、過剰在庫や品切れ

を防止する

- ・通常は日次で確認している売上状況を期末には1時間毎に確認して、正確な予実管理を行う
- ・取引状況を頻繁に確認し、リスクを早期に発見して迅速に対応する

サイベースは、このようなデータ活用ニーズの変化を踏まえて、同社の情報系分析用高速クエリエンジン「Sybase IQ」を利用して、様々な状況に応じて自由にデータ分析を行えるが行えるリアルタイムBIソリューションを提供している。」

### 閾値に応じて分析結果を自動配信

リアルタイムBIの必要性は以前から語られてきたが、BIのためのデータロードが基幹系システムに大

きな負荷をかけること、明細データの分析にデータベース性能が耐えられないことなどが本格化への課題だった。サイベースは、これらの課題を解決するために、①大量の明細データを分析に使える高性能のDWHを採用する、②基幹系システムに大きな負荷をかけないデータロードの方法を採用する、この2つをリアルタイムBIソリューションの必須要件として設定した。

図1は、サイベースのリアルタイムBIソリューションに、分析結果を自動配信させる仕組みを組み入れた発展型のリアルタイムBIソリューションのイメージである。例えば、あるデータ（情報）が事前に設定した閾値を超えると、その分析結果がメッセージングのバスを通じて他の

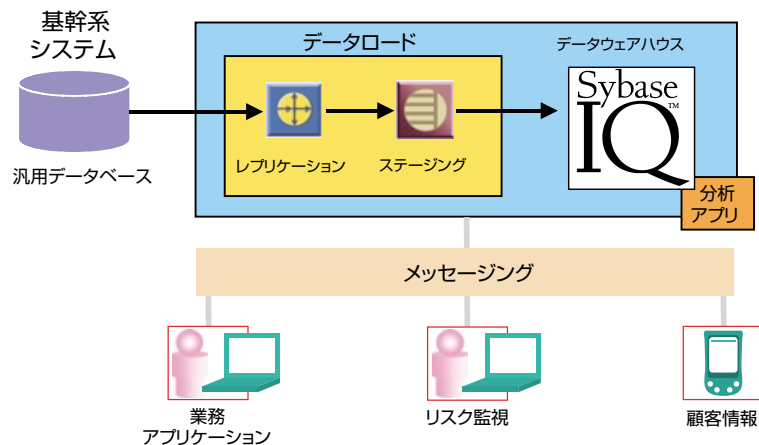


図1 発展型のリアルタイムBIソリューションのイメージ

アプリケーションやリスク監視、モバイル端末を持っている社員へ自動的に配信される。これにより、各社員が分析結果を自らの業務やその時の状況に応じて役立てることができるようになった。

また、本ソリューションは、データ分析を行うオペレーターの負荷軽減にも効果的である。従来のBIでは、専任のオペレーターが月次・週次・日次毎にデータを分析してレポートを作成していた。その仕組みは、リアルタイムBIにおいても変わらない。逆に、リアルタイムBIでは分析条件が増加、複雑化するため、オペレーターへの負荷が懸念されている。しかし、閾値に従い分析結果を自動的に配信する本ソリューションなら、オペレーターの負荷を軽減することができるだろう。

### データ活用をより身近なものに

図2は、現場レベルのBIをトータルにフォローすることを可能にした、サイベースが提供するリアルタイムBIのフレームワークである。

「月次・週次・日次レポート」は、定型のレポートで分析結果を報告する従来のBIが行ってきたデータ活用である。「毎時レポート」は、1日に何度も情報を更新して、1時間前のデータや明細データを配信／入手して、その時の業務に役立てるリアルタイムBIにおけるデータ活用である。「業務監視」は、図1に示した発展型のリアルタイムBIソリュー

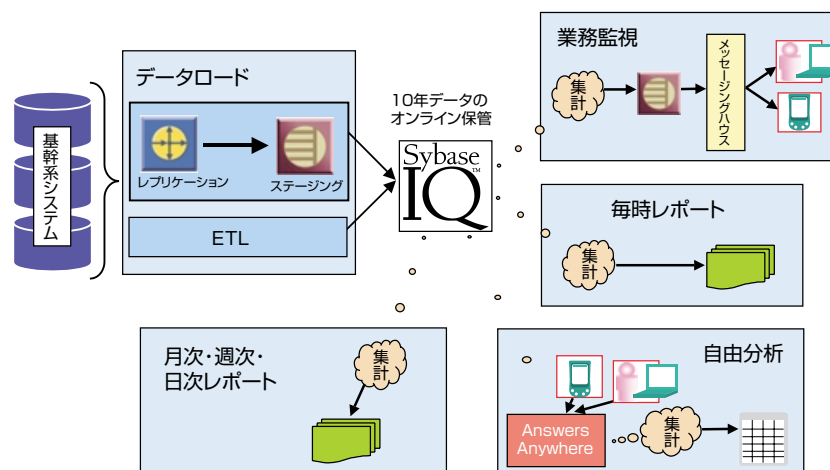


図2 現場レベルのBIに向けてサイベースが提供するフレームワーク

ーションをベースとしたデータ活用である。様々な条件に従い分析結果を自動配信することで、各領域の業務を容易に監視できるようになる。また、データロードのリアルタイム性を向上させることで、リスク監視や迅速なアクションをとることが可能となる。そして、データ活用をさらに身近なものにするのが「自由分析」である。

サイベースは、Sybase IQとアイエニウェア・ソリューションズのみドルウェア・プラットフォーム「Answers Anywhere」を組み合わせた自然言語による分析が可能なBIソリューションを共同で提供している（2008年6月から提供開始）。本ソリューションは、一般的な話し言葉による人と情報の自然な対話を実現する自然言語インタフェース技術と、文脈を理解することができるコンテキスト・エンジンを備え、携帯電話やPDAなどのモバイル環境で高い導入実績を誇るAnswers AnywhereとSybase IQと

の組み合わせにより、企業データを従来以上に柔軟に活用できる環境を実現するBIソリューションである。ユーザーは、Sybase IQに蓄積された企業データからAnswers Anywhereを活用して、必要なデータを必要な時に簡単に入手することができる。また、現場部門での分析作業が容易になるので、情報システム部門等に対するレポート開発要求が減り、分析に関わる時間とコストを大幅に削減することができる。

サイベースは、このようなリアルタイムBIソリューションを提供することで、従来は経営者層や部門幹部を主体としたBIを、お客様と接する“現場”のニーズにも対応させてデータ活用を身近なものにすることで、企業の競争力の強化に貢献している。

お問い合わせ先

サイベース(株)

E-mail : sales\_sykk@sybase.com

URL: <http://www.sybase.jp/>